

令和6年度高知県立大学地域共生学研究機構シンポジウム

# 歴史文化を通じた 地域づくり・まちづくり

日時 2024年12月14日（土曜日）14:00～17:30

会場 高知県立大学 永国寺キャンパス 教育研究棟 A101 講義室

## 第1部

14:00～ 学長挨拶

14:05～ シンポジウム 「高知県での取り組みについて」

●14:05～ 事例紹介① **中内 勝 氏**（高知県 文化生活部 歴史文化財課 課長）

●14:25～ 事例紹介② **中村 茂生 氏**（NPO 法人地域文化計画 理事）

●14:45～ 事例紹介③ **北山 めぐみ 氏**（NPO 法人すてきなまち・赤岡プロジェクト 副代表理事）

●15:10～ **意見交換会**

進行 **飯高 伸五**（高知県立大学 文化学部 教授）

（休憩 10分間）

## 第2部

15:50～ 基調講演「歴史文化を活かしたまちづくりのこれまでとこれから」

**西村 幸夫 氏**（國學院大學 観光まちづくり学部 学部長）

16:55～ 質疑応答

進行 **三浦 要一**（高知県立大学 文化学部 学部長）

17:25～ 副学長挨拶

17:30 閉会



シンポジウム

「高知県での取り組みに

ついて」

..... Memo .....

.....

# 事例紹介①

## 「高知県の中山間地域の 民俗芸能支援の取組」

高知県 文化生活部 歴史文化財課

課長 中内 勝 氏

..... Memo .....

.....

# 高知県の中山間地域の 民俗芸能支援の取組

令和6年度高知県立大学地域共生学研究機構シンポジウム  
歴史文化を通じた地域づくり・まちづくり  
2024.12.14

高知県文化生活部歴史文化財課長 中内 勝

## 文化財とは

- この法律で「文化財」とは、次に掲げるものをいう。
- 一 建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの（これらのものと一体をなしてその価値を形成している土地その他の物件を含む。）並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料（以下「有形文化財」という。）
- 二 演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの（以下「無形文化財」という。）
- 三 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で我が国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの（以下「民俗文化財」という。）
- 四 貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅その他の遺跡で我が国にとって歴史上又は学術上価値の高いもの、庭園、橋梁りょう、峡谷、海浜、山岳その他の名勝地で我が国にとって芸術上又は観賞上価値の高いもの並びに動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で我が国にとって学術上価値の高いもの（以下「記念物」という。）
- 五 地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの（以下「文化的景観」という。）
- 六 周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの（以下「伝統的建造物群」という。）

（文化財保護法第2条）

高知県の国及び県指定等文化財件数

区 分		国	内国	県	計
1	有形文化財(指定)	91	3	120	211
(1)	建造物	21	1	10	31
(2)	美術工芸品	70	2	110	180
①	絵画	2		6	8
②	彫刻	51	1	40	91
③	工芸品	13	1	34	47
④	書跡・典籍	2	1	2	4
⑤	古文書	1		3	4
⑥	考古資料	0		20	21
⑦	歴史資料	0		5	5
2	無形文化財(指定)	0		1	1
芸能		0		1	1
工芸技術		0		1	1
(工芸技術)		0		1	1
(保持者)		0		0	0
3	民俗文化財(指定)	6		38	44
有形		4		2	6
無形		2		36	38
4	史跡名勝天然記念物(指定)	43		80	123
(1)	史跡	12		31	43
特別史跡		0		-	0
史跡		12		31	43
(2)	名勝	3		7	10
特別名勝		0		-	0
名勝		3		7	10
(3)	天然記念物	28		42	70
特別天然記念物		5		-	5
天然記念物		23		42	65
5	文化的景観(選定)	6		-	6
6	伝統的建造物群保存地区(選定)	2		-	2
7	保存技術(選定)	2		0	2
合 計		150	3	240	390

※ 国指定・天然記念物及び史跡「龍河洞」は、天然記念物、史跡にそれぞれ1件とする。  
 県指定・名勝及び天然記念物「轟の滝」「長沢の滝」は、名勝、天然記念物にそれぞれ1件とする。  
 一箇所数としては、国はマイナス1、県はマイナス2となる。

R3年度 国指定史跡 R3.10.11追加指定:土佐編路遺跡(前蔵寺境内及び観自在寺遺跡)  
 R3年度 県指定有形文化財 R5.11.21指定:金剛山寺金剛尊五仏種子板碑、指定解除:神宮神社の大鐘  
 R5年度 県指定無形民俗文化財 R5.3.29指定:「越前二十日念仏」「久保川お伊勢踊り」  
 R5年度 国登録有形文化財 R5.3.6登録:高知市佐土町55-55番

(その他)R3.3.30登録:国登録無形民俗文化財「土佐節の製造技術」  
 (その他)R4.10.31登録「足摺海産物」、R5.2.27登録「旧陸軍歩兵第四連隊陣中歌」「同講堂」高知道手前高等学校

○ 登録有形文化財(登録)	288	-	288
○ 登録無形民俗文化財(登録)	1	-	1
○ 記録作成等の措置を講ずべき無形文化財(選択)	5	0	5
○ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財(選択)	19	0	19
○ 重要美術品(旧法・認定)	2	-	2

# 文化財の種類

大きく分けて有形と無形に分けることができる

## ○有形の文化財

(建造物、美術工芸品、史跡など)

※高知県内の指定例

建造物 高知城、土佐神社 など  
 美術工芸品 古今和歌集第巻廿(高野切本)

## ○無形の文化財

・無形文化財

(技術(わざ)を指定する文化財

歌舞伎、人形浄瑠璃、手漉き和紙、工芸品製作など)

・無形民俗文化財

(祭りや芸能、習俗を指定する無形民俗文化財

神楽、花取踊り、御御幸など)

※高知県内の指定例

土佐の神楽、赤野の獅子舞、蓮池の太刀踊 など

## 地域の伝統的な祭りや民俗芸能の維持・継承・活用

[歴史文化財課]

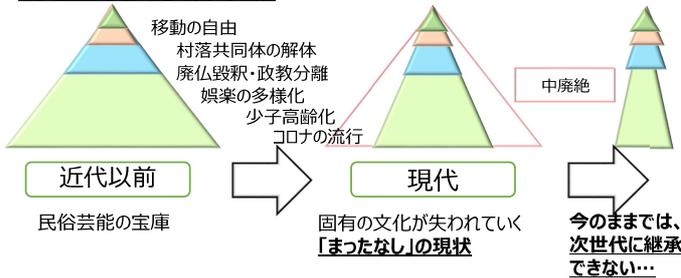
R6 予算額: 16,385千円 (一) 15,825千円 (入) 560千円

中山間地域の伝統的な祭りや民俗芸能等の無形文化財を次の世代に引き継いでいくため、住民による活動の継続や、適切な保存・活用等の取り組みを支援するとともに、県内に伝わる風流踊や神楽の世界無形文化遺産指定に向けた取り組みを推進する。

※民俗芸能: 生活のなかで、住民が伝承してきた演劇、舞踊、音楽や行事等

### 現状・課題

少子高齢化や過疎化の進展に伴い、地域の伝統的な祭りや民俗芸能の担い手が不足。次世代への継承が危ぶまれている。



指定区分	指定件数	芸能の例	中廃絶
重要無形民俗文化財(国指定)	2件 10芸能	御田祭(室戸市)、土佐の神楽(香美市、大豊町、いの町、仁淀川町、津野町、橋原町、四万十町)	0
県保護無形民俗文化財(県指定)	19件 34芸能	秋葉祭(仁淀川町)、シットロ踊(室戸市)、瑞応の盆踊り(佐川町)、山北棒踊(香南市)	6
市町村保護無形民俗文化財(市町村指定)	129件	太刀踊(仁ノ)(高知市)、野菜祭(宿毛市)、久礼八幡宮神事・奉堂地(中土佐町)	379以上
未指定 伝統的な民俗芸能	800芸能 以上	念仏踊、花取踊(太刀踊)、太鼓踊、獅子踊、盆踊、奉納相撲、百手など(全市町村)	

※未指定芸能数、中廃絶数は、R3民俗芸能緊急調査報告書から

【県内の市町村長の声】 ※中山間振興・交通部の市町村長ヒアングより

- ・集落の活性化に向け、各集落に残された**伝統文化の継承が課題**。
- ・地域の祭りが消滅してしまうと、**地域もさびれてしまう**。無理してでも続けたいいけないと思う。
- ・祭りや民俗芸能の維持・継承・活用は、**地元愛に直結**する。集落活動センターが祭りや学校での活動に関することで、地域活動の維持が期待。子どもに**地域に残って活動したいという意欲**に。

### 対策

## 高知県中山間地域再興ビジョン(R6~)の主要施策として総合的に取り組みを強化!

### 維持・継承の基盤の充実

1 伝統的な祭りや民俗芸能の保存活動・用具整備等への支援 (5,121千円)

市町村や保存会が行う、用具整備や記録作成、後継者養成等の事業を支援

【新】R6: 記録作成の一環として**デジタルアーカイブ化**(1,600千円)を設定

2 学生や企業等の支援による担い手確保の仕組みづくり (4,645千円)

【新】踊り手や運営などの担い手が必要とする保存団体と学生・企業等の外部支援者とのマッチングを支援

### 持続的な継承のための活用の取り組み

3 民俗芸能等の収益力向上と観光ルートづくりへの支援 (782千円)

【新】全国の祭りに詳しいアドバイザーを招き、保存会等の収益力向上の取り組みを支援

4 県民の理解促進を図る伝統芸能イベントの開催 (5,837千円)

秋に高知市中心部で「土佐の伝統芸能まつり」を開催



# 民俗芸能活性化推進事業費補助金（担い手支援事業）

<b>背景課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元～3年度にかけて県が行った緊急調査の結果、確認できた981件のうち約4割（385件）が中断又は廃絶していることが判明。</li> <li>過疎化や少子高齢化の進行に伴い、地域では「担い手」そのものが不足し、活動を続けたくても続けられない厳しい状況に直面。</li> <li>都市部の住民や学生の方々などの協力を募り、地域外人材による人的支援と現地における受入態勢の整備が必要。</li> </ul>
<b>事業目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担い手不足により中断又は廃絶の危機にある中山間地域の伝統的な祭り・民俗芸能を支援するため、大学や企業など外部の支援者と保存会をマッチングする体制を整え、演者や運営スタッフ等を確保するとともに、交流や共同作業を通じて参加者との絆を深め、貴重な土佐の伝統文化の活性化・伝承並びに交流人口の拡大を図る。</li> </ul>

**事業概要**

■事業の流れ：

- 支援受入れ団体・保存会との調整
- 市町村や保存会等からの応募を受け、大学及び企業からの参加者を募集
- 大学・企業及び保存会と受入れ・派遣内容等の調整
- 県職員による支援の参加募集・調整
- オリエンテーション（事前研修）の実施
- 準備・練習～祭り当日参加に必要な交通手段等の提供、現地での調整
- アンケートの実施による事業評価
- その他（保存会リスト・民俗芸能カレンダーの作成・更新）

■予算の内訳：

補助金：3,644（千円）  
学生や従業員が地域の民俗芸能の担い手として参加する際に必要な旅費、バス等の借り上げ等に要する経費の補助  
補助先：高知県文化遺産総合活用推進委員会  
補助率：定額

事務費：1,001（千円）

**事業実施イメージ**

スケジュール	
R5.12月～R6.3月	4月～7月
受入団体及び大学等との調整	事前研修
実施要領等作成	事前準備・練習への参加
	祭り当日の参加
	1月～3月
	参加者アンケート・事業評価
	次年度事業の調整

## 瑞応の盆踊り(令和6年8月16日)





# 事例紹介②

「獅子舞地域づくりは

可能か？

ー赤野獅子舞、コロナ以後の

展開ー」

NPO法人地域文化計画

理事 中村 茂生 氏

..... Memo .....

.....



獅子舞地域づくりは可能か？  
―赤野獅子舞、コロナ以後の展開―

2024年12月14日 @高知県立大学  
特定非営利活動法人 地域文化計画 中村茂生

高知県安芸市赤野に伝わる「赤野獅子舞」は、新型コロナウイルス感染症拡大状況の中、4年にわたって上演が休止した。

コロナ以後、赤野獅子舞保存会は休止継続を検討したが、保存会の若手グループが中心となって、新しい方針の下に復活上演を実現した。

復活から2年、現在では、コロナ休止以前より活発に行われている。

コロナ以後、伝統芸能「赤野獅子舞」はどのように変わったのか。コロナ以後の「赤野獅子舞」は、伝統芸能の継承活動というより、赤野獅子舞を通じた「地域づくり」のように見える。

獅子舞を通じた地域づくりは可能か？

# 獅子舞

『日本民俗大辞典』（吉川弘文館）より

- ・獅子頭を被って行う芸能。
- ・二人立ち（東日本以北に多く分布）と一人立ちの二系統がある。
- ・獅子の多くは、実在の動物の像を真似たものであるが、写実的というよりは、人々の空想によってつくられた想像されたもの。
- ・獅子には動物の持つ飛翔力、躍動感が付与され、音楽を伴ったリズムカルな舞や踊りにより、超自然的な世界または存在と接触することのできる仮面と考えられてきた。
- ・獅子の持つ特別な力への期待や信仰から、伎楽や舞楽など古代の芸能では、はじめに登場して、場を鎮める意味で演じられた。
- ・行列につく獅子は悪魔を祓い、道を鎮めるといった呪術的な機能を担うようになっていった。

## 高知県の獅子舞

「藤並大明神臨時祭礼絵詞」

\* 天保7年2月藤並神社臨時祭に関わる図絵



安喜東濱（安芸市東浜）獅子舞 「藤並大明神宮臨時祭礼絵詞」（高知城歴史博物館所蔵資料）

# 高知県の獅子舞

『高知県の民俗芸能 - 高知県民俗芸能緊急調査報告書 - 』（令和4年）



【天保七年藤並宮御旅所御神幸記録】  
吉村 淑甫/編 高知市民図書館 1988 (新土佐史料)

獅子	太鼓	拍子	音頭	旗持	世話役	安芸浦東浜
一人(子供)	一人	一人	一人	一人	三人	
狐	獅子テガイ	道具	棒	鈴	刀	
一人(子供)	十四					

安喜東西浜  
獅子ツカイ  
狐姿灯燈持台  
太鼓

(山内卷子)



「御神幸前御道筋装束之儘大御向罷越管次第」  
(高知城歴史博物館蔵)

# 高知県の獅子舞

・“獅子舞は、愛媛、香川、徳島各県では全域に分布し、祭りと言えは太鼓に操られて舞う獅子の姿を見る。ところが高知県では主として東部の安芸郡、香美郡下に点在する程度であり、四国に於ける獅子舞の分布から言えば、土佐は獅子舞の殆ど見られない地域であると言っても過言ではあるまい。”  
(『土佐の芸能』高木啓夫 昭和61年) \*19件

・高知県民俗芸能緊急調査 (令和2から3年)  
県内から33件報告された。  
テガイコ系/香南系/大豊系/獅子太鼓系/宿毛系/佐喜浜系  
『高知県の民俗芸能 - 高知県民俗芸能緊急調査報告書 - 』（令和4年）

- ・無形民俗文化財としての高知県の獅子舞
  - ・国指定の“獅子舞”はない。
  - ※県下国指定重要民俗文化財は、「吉良川の御田祭」「土佐の神楽」
  - ・高知県保護無形民俗文化財  
「土佐の獅子舞」6件 昭和44年8月8日指定

名	称	所	在	社名	奉納月日	備考
山北	獅子舞	香美郡香我美町山北		浅上王子宮	十一月 八日	
香宗	獅子舞	香美郡野市町香宗中ノ村		立山神社	十一月 一日	
赤野	獅子舞	安芸郡赤野		大元神社	十月 十九日	県指定
入河内	獅子舞	安芸郡東川		船岡神社	七月 九日	
小川	獅子舞	安芸郡安田町小川		川上神社	十一月 七日	
加領郷	獅子舞	安芸郡奈半利町加領郷		信守神社	旧九月二十五日	県指定
中川内	獅子舞	室戸市羽根町中川内		羽根八幡宮	十月 十五日	県指定
佐喜浜	獅子舞	室戸市佐喜浜町		八幡宮	十月 十五日	県指定
若一王子宮	獅子舞	香美郡香我美町徳王子		若一王子宮	十一月 八日	県指定
弘瀬	獅子舞	土佐郡土佐山村弘瀬		仁井田神社	十一月 八日	
大砂子	獅子舞	長岡郡大豊町大砂子		新田神社	十月 十五日	第一日曜
三ツ石	獅子舞	高知市五台山三ツ石		八幡宮	十月 二十八日	県指定
東諸木	獅子舞	吾川郡春野町東諸木		八所川内神社	十二月 二十三日	県指定
津賀之谷	獅子舞	吾川郡吾北村津賀之谷		音鳴神社	一月 十五日	
中ノ浜	獅子舞	土佐清水市中ノ浜		八幡宮	十一月 一日	
地吉の五ツ鹿踊り		幡多郡十和村地吉		天満宮	十一月 二日	
半家の五ツ鹿踊り		幡多郡西土佐村半家		日吉神社	十月 十日	県指定
母島鹿踊り		宿毛市母島		天満宮	七月 十六日	県指定
竜ヶ迫唐獅子おどり		幡多郡大月町竜ヶ迫		神社	奉納月日	備考

『土佐の芸能』高木啓夫 昭和六十一年

(祭日についてはその年によって多少変更がある)

# 安芸の獅子舞

- ・天保7年2月藤並神社臨時祭には、東浜西浜の獅子舞が参加したか。
- ・『土佐の芸能』高木啓夫 昭和61年の一覧表では、赤野獅子舞、入河内獅子舞のみ紹介されるが、他地区への言及あり。  
安芸の獅子舞は“テガイコ系” 「安芸の獅子馬立髪立てて、あぎとカツカツ耳を振る」  
(俚諺)
- ・『安芸市史 民俗篇』昭和54年。
  - ・・安芸市には民俗芸能が、地域の広範囲にかかわらず、他の市町村に比していたって少ない。
  - ・・（藤並神社臨時祭に）安芸地方から出ているものとしては、この狐の加わる「獅子ツカイ」が唯一のものであるところから見て、安芸地方での代表的芸能であったことがうかがわれる。獅子舞芸能としては華やかなものであった筈だが、現在の安芸市ではその狐踊りの片鱗も伝わっておらず、また県下にも皆無である。
  - ・・東部安芸郡下にいわゆるテガイによる獅子舞の多いことは特徴的である。

# 安芸の獅子舞

安芸市内で獅子舞をやっている／やっていた地区

赤野 穴内 安芸町 川北 伊尾木 江川 奈比賀 入河内

\* 戦後青年団の活動が活発だった頃になって新たにはじめたと考えられる箇所も含む。

令和6年に実施されたところ

赤野 川北 伊尾木 奈比賀 入河内

\* 伊尾木は今年復活。

いずれも神祭にあわせて奉納芸として上演される。

# 赤野の獅子舞

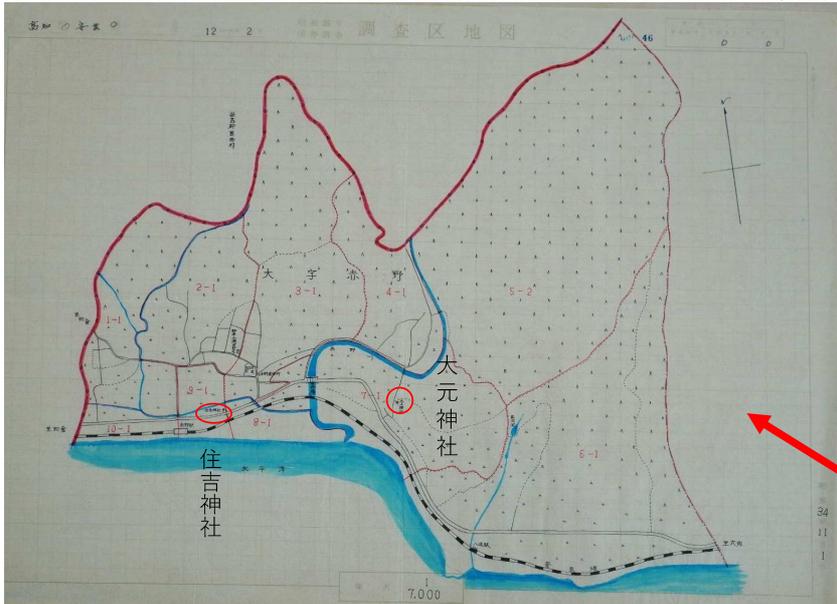
高知県保護無形民俗文化財

- ・ 安芸市赤野の大元神社祭礼で上演される奉納芸
- ・ 赤野獅子舞は、1969年8月8日に高知県保護無形民俗文化財に指定され、600年以上の歴史があるといわれている。
- ・ 夏祭りの7月22日（大元神社）、7月23日（住吉神社）と秋祭りの10月第2日曜日（住吉神社）に獅子舞を奉納している。
- ・ 「目白おとし」「飛脚」「どじょうすくい」「金太郎」など、様々な演目があり、テガイコはその演目ごとに扮装を変え、役柄に応じた仕草を面白おかしく演じながら寝ている獅子をおこし、荒れる獅子を制するように舞う。テガイコの扮装や身のこなしが素朴でユーモラスなところに特徴がある。

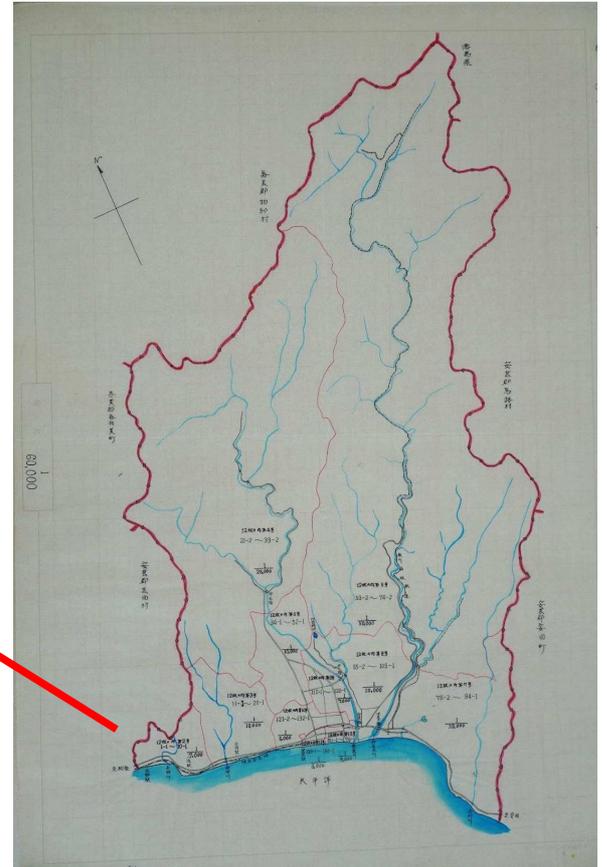
「赤野獅子舞保存会作成資料赤野獅子舞—こどもたちが地域をつなぐ未来へつなぐ—」

- ・ 県下の獅子舞で赤野獅子舞が最も土俗的である。  
(『土佐の芸能』高木啓夫 昭和61年)

赤野



昭和35年地図（国立公文書館蔵）



安芸市

# 赤野の獅子舞

2024.7.22 23



# 赤野の獅子舞



# 赤野の獅子舞

## 変遷

- ・赤野8地区が順番に神輿と獅子舞を担当していた。（『土佐の芸能』高木啓夫 昭和61年）  
（西岡 八流 桜浜 叶岡 住吉 赤野 山田 大夫屋地）集落数はその後減少する
- ・上演は、若連中（16-26歳）が担っていた。（高知新聞昭和30年7月25日）
- ・昭和30年 県文化財に申請  
担当：桜浜 この年、はじめてテガイコを女子児童がつとめる  
“シシの舞う型には伝統は認められるがテガイコは毎年創造され、文化財というよりはむしろ民俗資料として面白く・・・”（桂井県文化財調査委員のコメント「高知新聞」昭和30年7月25日）  
※後年、スターウォーズ獅子舞も登場。
- ・昭和44年8月8日 高知県保護無形民俗文化財「土佐の獅子舞」指定
- ・平成26年5月 赤野獅子舞保存会設立 \*県指定から45年後 夏神祭で児童だけの獅子舞上演  
担い手不足のため持ち回りによる開催ができなくなったことから保存会設立
- ・令和2年～令和4年 新型コロナウイルス感染症拡大→休止
- ・令和5年 4年ぶり復活

# 赤野の獅子舞

## 4年ぶり上演までの経緯

高知新聞2023年6月30日

- ・7月22日、23日夏神祭で4年ぶりに獅子舞復活。
- ・担い手確保が難しく、今年も中止の方向だったが、15に人が手を挙げて練習を開始した。
- ・地区内6地区が持ち回りで演じていた。
- ・従来は30代以下の男性が演じていたが、担い手が不足し、2014年に保存会を設立、後継者育成に励んできた。
- ・空白の3年間で響いて担い手が集まらず。
- ・将来的には地区外からも担い手を募る。

コロナ後、  
担い手確保が困難な  
ため休止継続の方向



保存会指導役  
「今年やらなかったら  
途絶えてしまう」  
LINEで意見聴取



初挑戦5人を含む15人で  
再スタート



新しい方向性による  
赤野獅子舞保存会の刷新



# 赤野獅子舞

こどもたちが地域をつなぐ 未来へつなぐ



赤野獅子舞保存会

本スライド以降、プレゼン資料からの採録スライドは\*印で示す。

## 赤野獅子舞

## コロナ以後の改変点

(「赤野獅子舞保存会作成資料赤野獅子舞—こどもたちが地域をつなぐ未来へつなぐ—」)

## 赤野獅子舞保存会 2023年～2024年度の取り組み

\*

- 赤野獅子舞演舞する子どもを増やした (2023年度 6人⇒2024年度 17人)
- 赤野地区以外の獅子舞演舞する人を取り入れた (高知市 5人・安芸市内 4人)
- 赤野獅子舞保存会に赤野地区以外の協力者や、獅子舞をしない人も協力者として入ってもらった
- 獅子舞練習を1年を通じて継続した (以前は、神祭前の時期のみだった)
- 女の子を獅子舞演舞できるようにした
- 赤野地区住民の協力体制を強化した
- 新聞社、テレビ局等に取材に来てもらえる体制をととのえた
- SNS、Instagram、ホームページ、ポスター等で初めて集客や宣伝を行った
- 赤野地区団体 (社協、防災会、民生委員、PTA、消防団、婦人会、青年団、子供会、日赤、JA赤野青壮部) 等と協力体制を構築した 2024.5.14

# 赤野の獅子舞 コロナ以後の改変点

## 赤野獅子舞保存会 2023年～2024年度の取り組み

\*

- 赤野獅子舞演舞する子どもを増やした（2023年度 6人⇒2024年度 17人）
  - 赤野地区以外の獅子舞演舞する人を取り入れた（高知市 5人・安芸市内 4人）
  - 赤野獅子舞保存会に赤野地区以外の協力者や、獅子舞をしない人も協力者として入ってもらった
  - 獅子舞練習を1年を通じて継続した（以前は、神祭前の時期のみだった）
  - 女の子を獅子舞演舞できるようにした
  - 赤野地区住民の協力体制を強化した
  - 新聞社、テレビ局等に取材に来てもらえる体制をととのえた
  - SNS、インスタグラム、ホームページ、ポスター等で初めて集客や宣伝を行った
  - 赤野地区団体（社協、防災会、民生委員、PTA、消防団、婦人会、青年団、子供会、日赤、JA赤野青壮部）等と協力体制を構築した
- 地域総がかり体制
- ・赤野獅子舞は、地域住民によって上演されるものだった。  
・女子は演技することができなかった。※昭和30年に前例あり。  
→これ以外に少子化に対抗する手段はない。この方法をとるか、やめるか。
- テレビ、新聞への積極的働きかけ  
→露出激増
- 2024.5.14 地域総がかり体制

# 赤野の獅子舞

・7月22日、23日夏神祭開催 高知新聞2024年7月24日

- ・小学生15日を含む約30人が熱演を披露。
- ・今年は地区外からも子どもを積極的に受け入れ、女子を参加できるようにするなど、存続に向けてかたちを変えながら、地域の伝統を繋いだ。
- ・コロナ禍による中止を経た昨年は活動停滞の影響で存続が危ぶまれたものの、指導役の有光新五さん（45）らが地縁を頼りに人を集めて、なんとか復活させた。
- ・熱のこもった奉納をみた地区内外の子どもたちから「かっこいいからやりたい」と、参加希望者が出てきたという。
- ・「人口減や高齢化は食い止められないけど、舞を中心に人を集めることができれば、地域は残っていくんじゃないか」（有光氏コメント）

### 2024年の上演。

- ・地区外・女子にも門戸開くなど実現

- ・「昨年の同級生の踊りをみて伝統を守るってかっこういいと思った。これからもずっとやりたい。
- ・リズムに合わせて踊るのが楽しいし、他の学校の子と一緒に力を合わせて頑張っていきたい。
- ・踊り手と息がぴたりと合う瞬間はドキドキしてうれしい。





## 赤野獅子舞 コロナ以後の赤野獅子舞を支える人びとと動機

### ・指導役（40代・獅子舞経験者）の動機

- ・赤野の地区があるのは、獅子舞があるから。
- ・自分が子ども時代に獅子舞を通してした経験を、今の子どもたちにもさせたい。  
※年長者を指導役として、世代を超えたグループで稽古を重ね、ひとつの演目を仕上げていく。
- ・獅子舞を盛り上げることによって、赤野を活性化したい。

\* 伝統芸能を続けなければならない、ではない。

### ・赤野地区外からの参加者の動機

- ・高知市などに転出した赤野出身者
- ・「獅子舞は、かっこいい」 youtubeで視聴

## 赤野獅子舞 コロナ以後の赤野獅子舞を支える人びとと動機



稽古場集まる人びと（基本週1回 赤野小学校体育館）

- ・出演者 子どもたち（男女・赤野内外から参加）小学生・中学生
- ・神社総代 大元神社祭礼を執行する総代グループの代表
- ・指導役 獅子舞経験者 40代 獅子舞経験者／現役演者 20代 基本的な振り付けなどを指導
- ・長老格 振り付けの細部、効果的な演じ方などを伝授 80代？
- ・父兄 子どもたちの稽古を見守る 30代ー
- ・地区代表 稽古を見守る 70代
- ・準備 太鼓、獅子頭のほか飲食の用意

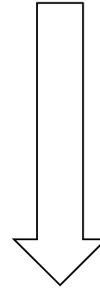
30人程度 ※獅子舞を核とした、世代・地域を超えた交流の場

・ 2006年

“桜浜集落の獅子舞メンバーは、10-27歳までの6人”

“桜浜集落の獅子舞メンバーは10-27までの6人”

年長者（27）らが「師匠」となり、“もっと腰を低く、表情をおおきくせないかん”



・ 17年後 2023年

復活の中心人物たち



## 赤野獅子舞保存会の方向性

### 赤野獅子舞保存会が達成したい目標

\*

#### ① 赤野獅子舞の継承

600年以上前から続く獅子舞は、赤野の大きな財産である。この文化を残すため、練習や神祭、その他のイベントを通じて、たくさんの人に赤野獅子舞を知って楽しんでもらい、披露の場を増やす。

#### ② こどもの成長、地域リーダー育成、地域への愛着

・得意不得意ではなく自分の可能性を信じて挑戦する心、友人同士がお互いを尊重する心を養う。

・人前での発表体験を積むことで、物事をやり遂げることの自信やリーダーシップを発揮出来る人間性を育む。

・獅子舞を通して、子どもたちが地域の人々と交流し、地域への愛着を育む。たとえ地域外で暮らすことになっても、獅子舞の時期には必ず帰りたくなるような活動にする。

#### ③ 獅子舞で地域の未来をつくる

獅子舞を核として、地域に暮らす子どもたちからお年寄りまでが一体となり、そこに赤野以外からの仲間を加え、新しい時代に合ったコミュニティをつくる。



様々な世代が集会所に集まり、昔の獅子舞のDVDを鑑賞している様子



毎週日曜日に行われる練習の風景



2023年 夏の神祭で初の獅子舞ワークショップ開催

# 赤野獅子舞保存会の方向性

目標達成のために（今後3か年で取り組むこと）a.～f.

\*

- ① a. 赤野獅子舞教本やパンフレットの整備
- b. 写真展開催
- c. 神祭以外のイベントへの積極的な参加
- ② d. 観光事業としてのPR、企業協賛の獲得
- e. 学校教育との連携
- ③ f. 情報発信の強化



## 赤野獅子舞の現在地・課題・将来への期待

### ・現在地

- ・ 危機的状況を逆手にとって、これまでの在り方に、保存会がさまざまな改変を加えた。
- ・ 改変によって赤野獅子舞周辺のネットワークが強化されている。
- ・ 戦略的な情報発信により、確実に存在感が増している。  
※安芸市を代表する“伝統芸能”といえるのではないか。天保以来？

### ・課題

- ・ 神社祭礼の奉納芸という“本来”の性格が変わるのではないか。  
※氏子集団（地域コミュニティ）が担う氏神社の奉納芸という枠を逸脱しつつあるようにも見える。
- ・ 新しい展開をはじめた赤野獅子舞を維持、発展させる主体として、保存会は機能し続けるか。

### ・将来への期待

- ・ 地域コミュニティ再創造のひとつのモデルになりうるのではないか。  
※赤野の地域コミュニティ⇒獅子舞を核としたコミュニティへ
- ・ 救済、支援対象としての伝統的民俗芸能から地域活性化の切り札になる  
※“伝統的民俗芸能の継承・存続”から“地域の存続・活性化の切り札”へと地域課題が変化

獅子舞を通じた地域づくりは可能か？

安芸市内で獅子舞をやっている／やっていた地区

赤野 穴内 安芸町 川北 伊尾木 江川 奈比賀 入河内

\*戦後青年団の活動が活発だった頃になって新たにはじめたと考えられる箇所も含む。

広がる、  
うちもやりたい

高知新聞2024年10月19日



## 目標達成のために（今後3か年で取り組むこと）a.～f.

### f. 情報発信の強化

Youtube, FaceBook, InstagramなどSNSでのイベント周知や、若者にも興味をもってもらいやすいコンテンツを充実させていくと同時に、高齢世代にも情報が伝わるよう、新聞やテレビ等のマスメディア、従来のチラシやポスター、ロコミでの情報発信も定期的に行う。

Youtube	<a href="https://www.youtube.com/channel/UCoiHte7qDC8-2h4oCEm9I2Q">https://www.youtube.com/channel/UCoiHte7qDC8-2h4oCEm9I2Q</a>	
FaceBook	<a href="https://www.facebook.com/akanoshishi/?locale=ja_JP">https://www.facebook.com/akanoshishi/?locale=ja_JP</a>	
Instagram(公式)	<a href="https://www.instagram.com/akano_shishimaihozonkai">https://www.instagram.com/akano_shishimaihozonkai</a>	
Instagram(akashishi)	<a href="https://www.instagram.com/_akasisi/">https://www.instagram.com/_akasisi/</a>	
Instagram(おうちゃん)	<a href="https://www.instagram.com/akanoshishimai_ou?igsh=MmV0NDZmNzJocWoz">https://www.instagram.com/akanoshishimai_ou?igsh=MmV0NDZmNzJocWoz</a>	



2023年 秋神祭の際のチラシ



# 事例紹介③

「歴史文化を通じた

地域づくり・まちづくり

－すてきなまち・赤岡プロジェクト

を中心に－」

NPO法人すてきなまち・赤岡プロジェクト

副代表理事 北山 めぐみ 氏

..... Memo .....

.....



## 歴史文化を通じた地域づくり・まちづくり

—すてきなまち・赤岡プロジェクトを中心に—

兵庫県・高知県ヘリテージマネージャー  
NPO法人すてきなまち・赤岡プロジェクト  
高知県建築士会・高知工業高等専門学校

北山めぐみ

## すてきなまち・赤岡プロジェクトについて

高知県香南市赤岡町に位置する旧小松家住宅「赤れんが商家」を中心に、赤岡の町家等の保全活用に関わる事業を行うことで、

- ・ 絵金文化の継承
- ・ 地域経済の活性化
- ・ まちづくりの担い手育成
- ・ 交流人口の増加

を目指し、市民生活の文化的向上ならびにまちづくりに寄与することを目的として2014年に発足した団体



# 絵金文化とは

幕末の絵師・広瀬金藏（文化9年-明治9年）とその弟子らによって描かれた芝居絵屏風を神社の夏祭りに飾る風習。

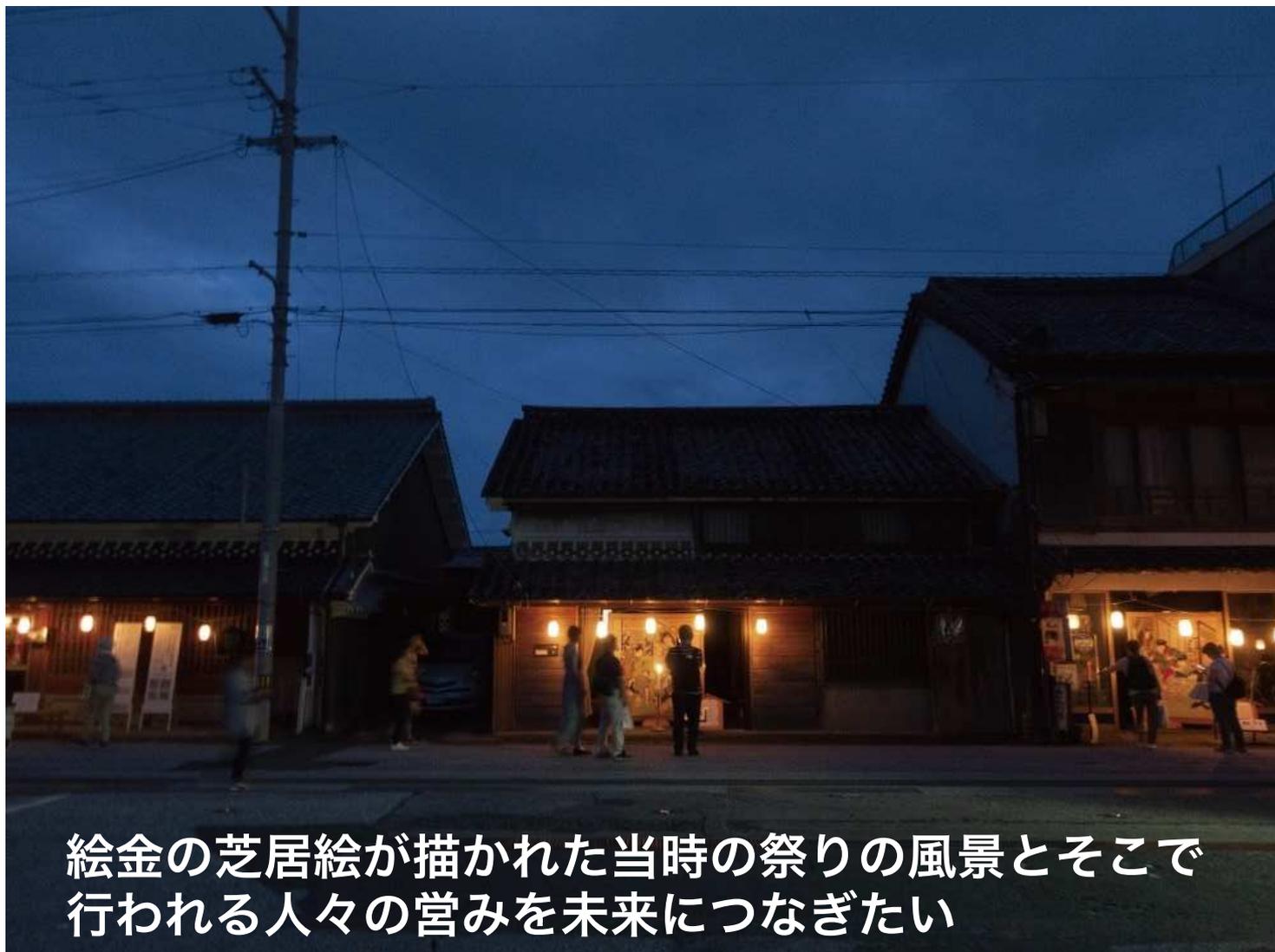
かつては県内約30箇所の神社で飾られ、現在は10箇所ほどで見られる。絵馬台と呼ばれる櫓に嵌め込むタイプ、商店街で町家の軒下に飾られるタイプがあり、時代とともに飾り方の変化も見られる。



朝倉神社夏祭り（高知市朝倉）



須留田八幡宮神祭（香南市赤岡町）



絵金の芝居絵が描かれた当時の祭りの風景とそこで  
行われる人々の営みを未来につなぎたい



解体の危機にありながら住民の声がけにより解体を留まった「赤れんが商家」



初めはとにかく不要なものを捨て、掃除をすることから始まった

## 活動内容①：月に1回の修繕ワークショップ



かまどの修繕（3回程度）



釜屋復活大作戦（半年間）



襖の張り替え（全4回）



大屋根葺き替え（1年半）

助成金や寄付金、クラファンなど小規模な原資をもとに、WSで学ぶ機会を創出しつつ、段階的に建物を健全にしていく

## 活動内容①：月に1回の修繕ワークショップ



丁寧な修繕は建物に刻まれた歴史を徐々に明らかにしていく

## 活動内容②：場の活用（イベント企画・カフェ等）



県内外のアーティストと協働したアートイベント



セミナー・まちあるき

コミュニティカフェ（月1回）

様々な団体と連携して場を開き、地域内外の交流を作り出す

## 活動内容③：情報発信

絵金文化を未来へつなぐまちづくりに取り組む「NPO 法人すてきなまち・赤岡プロジェクト」の情報発信誌

**あかおかわらばん!**

～108号



活動の共有手段、記録媒体としての広報誌

活動を広げる種まきとしてのレクチャー・勉強会

# 活動の中心はヘリテージマネージャー・学生・地域住民



## 「ヘリテージマネージャー」とは

**地域に眠る歴史的文化遺産を発見し、保存し、活用し、まちづくりに活かす能力を持った人材**

60時間の養成講座を受講し認定される  
全国40都道府県以上で講座が実施され、  
歴史的建築物のホームドクター、  
災害時の文化財ドクター、  
保全活用に向けた調査・企画運営・  
実践など様々な取り組みを行う



高知県の活動母体  
「ヘリテージ学団あっちこうち」

# 1995年 阪神淡路大震災



写真提供：神戸市

## 多くの神戸らしい建物・風景が失われた



旧神戸居留地十五番館（明治13～14年建築）



旧第一勸業銀行神戸支店（大正5年建築）



阪神淡路大震災を機に、地域らしさを物語る歴史的建造物を地域に住む建築士等が発見し、守り、生かすことの重要性が指摘され、そのための人材育成が開始される。

平成7年（1995）年 阪神淡路大震災の発生

平成8（1996）年 文化財保護法の改正による  
**登録有形文化財の制度が発足**

平成13（2001）年 兵庫県へリテージマネージャー養成講習会を開始

平成27（2015）年 高知県へリテージマネージャー養成講習会を3カ年実施

→R7年度に7年ぶりとなる養成講座を開催予定！

## 市民とともに歴史的町並みを守る取り組み

みちしるべ  
— 丹波篠山の活動

経験を通して価値観を形成し、新たな担い手を育てる

NPO法人 町なみ屋なみ研究所 丹波篠山古民家再生プロジェクト

20棟の町屋や武家屋敷の再生と活用を実現  
<http://retorunasasayama.web.fc2.com/200kaisimp>

伝統的な町並みを守るため、町屋などが壊されないようにする活動、町屋などの価値を高める活動を、ボランティアの協力も得て、その再生と活用を図りながら進めています。町屋や武家屋敷を再生し、店舗やギャラリーの誘致を進めた結果、魅力的な店が次々オープンし、篠山が注目されるようになってきました。

- 再生した古民家店舗、ギャラリー

1棟目 やくら → 現「やくら」	2棟目 立町の町屋 → 現「よろく」
3棟目 倉本家 → 現「to_teyany」	4棟目 二期町の町家 → 現「篠山は+研-KITAS」
5棟目 福島の武家屋敷 → ことり	6棟目 あめや → 現「葡萄屋晴次郎」
7棟目 魚屋町の寿司屋跡町屋(店舗住宅予定)	8棟目 魚屋町の町屋(住宅)

- 再生を手伝った古民家店舗、ギャラリー

1棟目 恵山	2棟目 gallery limB	3棟目 栄魚堂	4棟目 陶々庵・ハトヤ
5棟目 琴草の町屋	6棟目 上河原町の町屋	7棟目 福住アトミス	8棟目 二期町の町家

町家オーナー募集！！  
保存再生していただける購入者を探しています

古民家再生ボランティア募集！！  
毎月第1、第3土曜日が活動日です。1月は第2、第4土曜に変更します

活動内容 竹垣づくり

○時間 10時～16時

○講師 才本、酒井吉一 級建築士 若匠のみなさん

○場所 福住のかやぶきの家

誰でも参加できますのでお気軽にお問い合わせください

古民家再生 店舗等活用

○町並み保全  
○地域の活性化






月に2回の古民家再生ボランティア



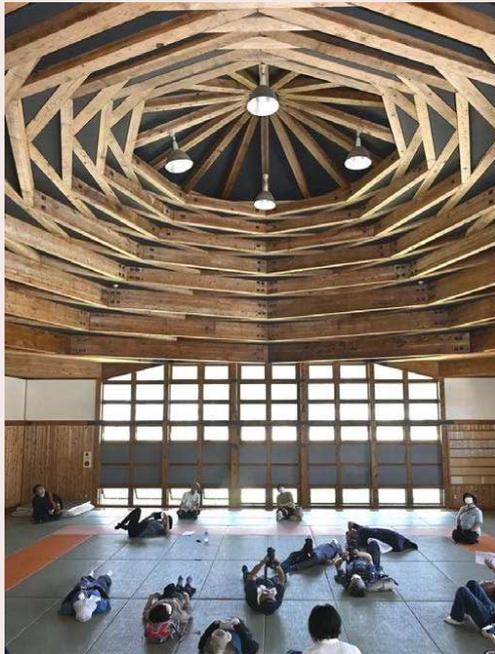
古民家ホテル NIPPONIA



# 高知県ヘリテージマネージャー・サポーターの活躍

## 「しみずの建築の魅力再発見ツアー」

写真：高知新聞 (<https://www.kochinews.co.jp/article/detail/765400>)



←清水高校  
格技場

旧大津→  
小学校



海ギャラを→  
案内するHM

2024年～、任意団体→一般社団法人海ギャラChill Outを立ち上げ。海ギャラの指定管理を担い、企画展示やまちあるきイベント等を企画している。地元HMが市民と共に地元のヘリテージ建築を丁寧に繋いでいる。

# 高知県ヘリテージマネージャー・サポーターの活躍



高岡蚕の市  
よみがえり商店街

5/15 SUN 時間 10:00～16:00

よみがえり商店街 高岡遺産を一緒に探してみませんか？

2021春のお祭りで祭った高岡遺産 100軒経典「おひき湯」を中軸に 2021年7月から毎日の市を開催。古き良きものが集まる高岡商店街で、宝物を探しながら散歩。

次回 2022年6/12(日)「高岡 蚕の市」その日しかありえない！トクバツな出合いを高岡商店街で

場所 土佐市高岡商店街 (〒777-0001 土佐市高岡商店街)

ACCESS

高知自動車道 土佐ICから約5分  
バス「土佐まで」大津バス停、土佐市役所前、土佐市役所前、土佐市役所前、土佐市役所前、土佐市役所前

土佐市高岡商店街サクラプロジェクト：  
2021～ 毎月第2日曜日に空き店舗を使った蚕の市  
・「空き家」ではない「空き町家」の開き方 ・既存店舗の継続支援にもなっている  
ヘリテージサポーターの強い思いが地域を徐々に動かしている。

# 色々みてみると・・・



切り口や手法は様々で、まちや建物に応じた展開がある。  
保存や活用という言葉に捉われない、**まちを生かそうとする営みの姿**がある

## 活動を後押しするもの

### ▶ 常に活動の意味や価値を考えながら行動する

- ・ 参加した人々の心を豊かにする学びとなり、種をまく。
- ・ 運営側にとっても学びの場となる  
→WS手法、伝統構法、NPO運営、クラファン  
登録文化財手続き、保存活用計画
- ・ 地域の文化継承につなげる  
→高知県に広がる祭礼文化（絵金）  
の継承の一翼を担う

### ▶ 歴史的建築物が持つ場の力

- ・ 「残したい！」と思える建築と、  
人の存在によって生まれる空間の魅力



# 私たちの活動を後押しする言葉

Loveがたくさんあればあるほど、人生は豊かになる。  
Loveな建物やまちをたくさんつくりなさい

兵庫県ヘリテージマネージャー 武田則明氏

建築をやっている人は空間の使い方や活かし方に気づくことが得意。建築だからこそできる職能を活かした活動になっている  
タムタムデザイン 田村誠一郎氏

延命も立派な保存活動だよ

工学院大学 後藤治先生

残すことが難しいからこそ、次の世代に伝えようとする  
その活動が大切ではないか

ホーホウ 木藤亮太氏

# 基調講演

「歴史文化を活かした  
まちづくりのこれまでと

これから」

國學院大學 観光まちづくり学部  
学部長

教授 西村 幸夫 氏

..... Memo .....

.....

# 歴史文化を活かしたまちづくりのこれまでとこれから

2024.12.14

國學院大學観光まちづくり学部長・西村幸夫

## 1. はじめに

高知県の取り組みをうかがっての印象  
なぜ歴史文化を活かしたまちづくりか

## 2. 歴史文化を活かしたまちづくりのこれまで

歴史を振り返る  
歴史文化への気づきの契機とは  
環境の変化が気づきをもたらす  
保存から物語の共有へ

## 3. 歴史文化を活かしたまちづくりのこれから

高齢化・人口減少のもとでのまちづくり  
共有される物語の再構築：まちの読み解きからはじまるまちづくり  
自己実現のプロセスの中のまちづくり  
他者へひろがるまちづくり

## 4. まちの読み解きのいくつかの事例から

高知の例  
土佐中村の例  
そのほかのまちの例